

*** 牧師室より ***

「聖書の言葉の力」

今年の5月に、私達の教会で共に歩いてこられた岡崎久江さんがガンの検査と治療のために日本に一時帰国されました。急なことではありましたが、悪くなって飛行機に乗れなくなる前に、ということで、急いで出発されました。そして、日本で検査を受け、治療を受けておられましたが、7月30日に天に召されて行かれました。ご帰国も突然でしたが、天への旅立ちも突然のことで、実感もわかりません。そんな中で、神様が私たちに久江さんを与えてくださった数年間のことを振り返りながら歩んでいます。

久江さんは2012年11月からJCGNJに集っておられますが、その前から、浜田郁世さんのお母様として、日本でも、アメリカでもお交わりをさせていただいてきました。その篤い信仰と、この喜びを多くの人々に伝えたいという情熱にはいつも圧倒される思いでした。

私が告別式のためにメッセージをお送りしようと思っていて、思い出したのは、まだニュージャージーに転居される前、浜田家を訪ねてアメリカに来られた時のことでした。ちょうどそのとき、一人の方が、アメリカで信仰を持ち、喜んで教会に集いご奉仕などもされていたのですが、日本に帰っていく時に、日本に帰って、新しい教会で同じように喜びにあふれて歩いていくことができるだろうか、と信仰生活に不安を感じておられました。その時に、あまり時間のない中で、久江さんがささっと近寄り、彼女に聖書の箇所を書いたメモを渡されました。幾つかの聖書の箇所だけが書いてあったメモだそうです。それを受け取った方は、その書いてあった場所を自分の聖書で一つ一つ開いて行かれたそうです。そして、その中で一つの言葉がその方の心をとらえました。

「見よ、新しいことをわたしは行う。今や、それは芽生えている。あなたたちはそれを悟らないのか。わたしは荒野に道を敷き、砂漠に大河を流れさせる。」

イザヤ書 43:18(新共同訳)

その「今や、それは芽生えている」という聖書の言葉が響いてきて、「もう神様は私のことをわかって準備をしてくださっているのだ」と、恐れから解放されたということでした。私だったら、いろんな慰めや励ましの言葉を考えて、聖書の言葉を添えて送るということを考えてしまうのですが、そうではない、聖書の言葉の力が、人の言葉よりも何倍も力があることを知っておられて、教えてくださった方でした。

そのような信仰の勇者を天に送ったことは私達にとっては大きな痛手です。しかし、その信仰は今も語っています。

「彼は死んだが、信仰によって今もなお語っている。」

ヘブル人への手紙 11:4

その信仰にならって、聖書の御言葉の力を経験させていただきたいと思われています。一人でも多くの方々が、この聖書の言葉の力によって、励まされ、立ち上がることができますように。

*** 証し ***

「最善をなさる神様」

浜田郁世

この3カ月間を振り返り、全てが神様の御手の中に置かれていたこと、神様の完璧な“とき”があったことを改めて思い、その御業の素晴らしさに圧倒されています。

母・岡崎久江が最期の2カ月間を過ごした千葉は、北海道出身で仙台に長く住んでいた母と私にとって、全く初めての知らない土地でした。母の病気の検査と治療を千葉市内にある病院でやって頂こうと決め、千葉県南部の君津市に住む叔母(母のすぐ下の妹)だけを頼りに、5月末に緊急帰国しました。しかし、成田空港の到着ロビーを出た時から、神様は何人もの助け手を次から次へと私達の前に送って下さいました。長旅の疲れと気圧の関係からなのか、日本に着いて緊張がとけたからか、横を歩いていたはずの母が一瞬にして視界から消え、辺りを見回すと、千鳥足になってどンドン後ろへ後ろへと遠ざかって行く姿が見えたのです。直ぐに駆け寄って体を支えたので倒れこそしませんでした。目は朦朧(もうろう)とし、意識が5分位なくなっていたようです。日本に着いて直ぐのこの出来事には本当にドキッとさせられましたが、迎えに来てくれていた叔母はもちろんのこと、叔母の友人、そこに居合わせていたテレビ局のスタッフの方々、アメリカのERで働いているという方、空港・警察の方々、救急隊員の方々、運ばれた病院の先生やスタッフ。本当に皆さん親切で、丁寧に接して助けて下さいました。

それから出会った数えきれないほどの人達、例えば、様々な役所関係の方々、病院の先生、看護師さん、スタッフの方々、どこへ行っても皆さんにとっても良くして頂きました。また、君津に滞在していた時に集わせて頂いた木更津にある畑沢キリスト教会の皆さんも、私達を温かく迎えて下さり、数回しか礼拝に出席することができなかった母の癒しのために、熱い祈りを捧げて下さっていました。そして、その祈りのサポートはニュージャージーはもちろんのこと、仙台、日本・アメリカの各地、世界のあちこちに広がっていきました。色々なことが本当に不思議なように、そして絶好の良いタイミングで一つ一つ開かれていく経験を目の当たりにし、多くの方々の祈りの力を背後に感じずにはいられませんでした。

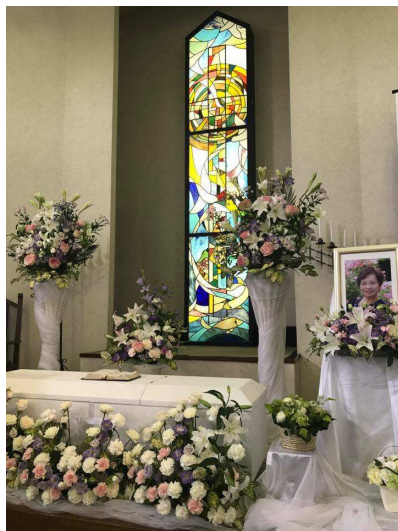
日本に帰ってからの一カ月間は検査ばかりでしたが、いよいよ7月の初旬から抗がん剤治療が始まることが決まり、通院しやすいようにと、千葉市内でサービス付き高齢者向け住宅(以下「ホーム」と記載)を探すことにしました。全部で4件見学したのですが、最後に伺った所で、「ここだ!」と思えるような素晴らしいホームに神様は出会わせて下さいました。叔母のいる君津を離れ、全く知らない土地で母一人で始める生活に大きな不安もありましたが、ここなら安心してお任せできると思えるような所でした。母も安堵のあまり、涙していたほどです。そして、そのホームに決める大きな要因になったことの一つが、千葉栄光教会の存在でした。錦織先生が以前からよくご存知であった大前先生ご夫妻がご奉仕されているという教会を紹介して下さいましたが、その時点で

は住所を調べていませんでした。しかし、ホームを見学に行く日の朝に、ご紹介頂いていた教会のことをふと思い出し、インターネットで検索してみたところ、教会とホームが同じ町にあること、しかも歩いて6～7分程の距離のところにあったのが分かったのです。その時には鳥肌が立ち、「これは神様のご計画以外には考えられない！」と強く感じ、見学に行く前から「導かれた場所」という確信と平安が与えられました。

その町に引越したのは日曜日の夕方でしたので、夜に持たれている礼拝に私一人で出席し、大前先生ご夫妻にお会いして母のことをお話しました。それから先生方は何度も何度もホームの母を訪ねて下さいました。ただ、残念なことに、病院に行っていて留守にしている日や母の体調が優れない時でしたので、一度だけ、それもチラッとお会いしただけになってしまったようです。また、海外に住んでいるクリスチャンの友人が背後で連絡を取ってくれ、教会同士の繋がりを通して、やはり千葉市内にあります真砂(まさご)バプテスト教会を紹介して頂きました。そちらの教会では「訪問励ましミニストリー」をされていて、副牧師の先生と教会員の姉妹が母を訪ねて下さいました。他にも同じニュージャージーの教会に集っているご家族の方のお母様は、横浜から千葉へお引越されるというタイミングにあられる中、何度も何度もホームに足を運び、母の必要を尋ね、母を励まして下さいました。他にも多くの方々がメールやメッセージ、カードや本、CD や写真などを送って下さり、時には電話を下さり、母はどんなにか嬉しく慰められていたことかと思えます。

先にも書きましたように、母は千葉栄光教会の大前先生ご夫妻とは1度しか対面することができませんでした。けれども、7月30日にホームの自分の部屋で倒れて救急車で搬送された意識不明の母を、大前先生が病院まで訪ねて下さり、聖書を読み、お祈りして下さいました。夜の10時頃、母が召される約1時間半前のことでした。母に読んで下さったのは、旧約聖書の詩篇48篇にあるこの御言葉だったそうです。「この神は世々限りなく私達の神、死を越えて、私達を導いて行かれる、と。」母には確かにこの御言葉が聞こえていた、祈りが届いていた、母は平安のうちに天に引き上げられていったのだと確信し、とても慰められました。千葉栄光教会において告別式を持たせて頂いたことにも不思議な導きを感じています。母のことを

殆ど知らない大前先生が、とても温かく良い式を執り行って下さり、永遠の命の約束と天国で再会する希望が与えられていることの素晴らしさを語って下さいました。このように、神様は初めから全てを備えておられ、叔母以外は誰も知る人のいなかった千葉という土地を、祝福の場所へと、第三の故郷へと変えて下さったのです。



直前まで母に寄り添って、手厚いケアをして下さったホームのスタッフの皆さんにも心から感謝しています。ホームに住んでおられる方々もキッチンスタッフの方々も母のことを気遣い、優しく助けて下さいました。元気になったらホームで行われる様々な活動にも積極的に参加し、皆さんとの繋がりを深めていくのを楽しみにしていましたので、ホームでの滞在が3週間という短いものになってしまったことが残念でなりません。しかし、母はもっと良い「天国」という場所に移されて行ったのです。

私は日本とアメリカを何度か行き来し、7月半ばには一度アメリカに戻っていました。母は7月25日に2回目の治療を受ける前には副作用がかなり辛く、もう治療はやめたいと言っていたようですが、やっぱり頑張ると決めて治療を受けた後は、電話で話した声も明るく弾み、書いてくる文章も治療に対してとつても前向きでした。表情も和らいで明るくなってきたとホームのスタッフの方も知らせて下さり、誰もが「良い方向かっている、癒される」という期待を持っていたのではないかと思います。人間的な思いでは「それなのに何故？こんなに早く？」と考えてしまいますが、私達には神様のご計画の全てがわからない時があります。しかし、神様のなさることには必ず意味や目的があり、最善なんだと信じています。そして、いま確かに言えることは、母はもう痛みや苦しみからも解放されて、大好きなイエス様のもとで安らいでいるということ、「ハレルヤ！」と手を大きく広げ、飛び跳ねながら喜びの賛美を捧げているということです。最後に聞いた母の声がとても元気だったことも、一番辛かった時の母の姿を私が見ることがなかったことも、もしかしたら神様の愛の配慮だったのではと思われています。

母が召天してから頭の中を巡っている聖書の御言葉をここに記して、この証を閉じたいと思います。

「神のなさることは、すべて時にかなって美しい。神はまた、人の心に永遠を与えられた。しかし人は、神が行われるみわざを、初めから終わりまで見きわめることができない。」

伝道の書3章11節

「私にとっては、生きることはキリスト、死ぬことも益です。」

ピリピ1章21節

「まことに、まことに、あなたがたに告げます。一粒の麦がもし地に落ちて死ななければ、それは一つのみ実です。しかし、もし死ねば、豊かな実を結びます。」

ヨハネ12章24節

お一人お一人の上に、神様の豊かな祝福とご計画がありますように。

*** JOYJOY キャンプ ***

「ハーモニーを作ろう！一人じゃできない響きを～」
今年も JOYJOY キャンプにたくさんの仲間達を迎えて、楽しい1週間を過ごしました。

今年のテーマは「ドレ♪ミ」ファ♪ジョイ♪はずむ！凸凹おんがくたい！」神様は私達一人ひとりを違った存在として



作ってくださった。だから、人を羨ましく思ったり、自分はダメだっと思ったりしないで、私達の人生の指揮者である神様に従って、周りの人と助け合いながら、自分の使命を果たしていくときにハーモニーが生まれるんだよ、

ということを子どもたちと学びました。聖書のお話、みことば、工作に実験にクッキング、歌にダンスにスポーツ、アートにハンドベル。そして、毎年大人気のトンネル迷路！それから、毎日美味しいランチ！楽しい1週間でした。JOYJOY キャンプは終わったけれども、いつでも教会に来てね！

*** JCC カフェ オープン ***

地域の憩いの場として、教会主催のカフェがオープンしました。JCC とは Japanese Community Circle の略です。自家焙煎のコーヒー、Japan Quality のスイーツ、自家製ピクルスで皆さんをお出迎えます。

子育てママやアメリカに来たばかりの方や独り身のご高齢の方々など、横の繋がりを必要とする方々が気軽に集える場所があれば…という願いが与えられ、JCC CAFE が誕生しました。地域の憩いの場、交わりの場として根付くことを願っています。

8月18日にプレオープンをし、18名の方々が集われました。今後は月1~2回のペースでオープンし、徐々にオープン日を増やす予定です。

カフェの中で、手芸ワークショップ、コンサート、英会話セッション、お料理教室など、楽しい企画も計画していく予定です。

お子様連れの方からシニアの方までどなたでも大歓迎です

カフェスタッフが、心から喜んで楽しく奉仕することができ、集う方々が自然と神様の愛に触れる、そんなカフェとして成長するようお祈り頂ければ幸いです。



*** 報告 ***

- ❖ 共に礼拝を守ってこられた内山潤一・のぞみご夫妻が7月20日に日本に帰国されました。ご夫妻の日本での新しい歩みのためにお祈り下さい。
- ❖ JCCNJ で共に歩いてこられた岡崎久江さんは、癌の治療のために5月末より日本に一時帰国されていましたが、7月30日(日)滞在先の千葉市で召天され、8月3日(木)に日本ホーリネス教団千葉栄光教会で告別式が持たれました。ご遺族に主の慰めをお祈り下さい。JCCNJ でも10月以降に記念会を持ちたいと願っています。日程等決まり次第ウェブページに掲載しますのでjccofnj.orgをご確認下さい。

- ❖ JCCNJ の初代牧師で、創立期に教会のために尽力された正木茂師は8月13日に召天されました。90歳でした。ご遺族に主の慰めをお祈り下さい。
- ❖ 錦織学牧師は2017年8月から3年間の新しい任期に入りました。7月30日の礼拝では新しい任期のための就任式を行いました。新しい3年間の働きのためにお祈り下さい。
- ❖ JCCNJ 教会会堂取得のための積立基金は2017年7月末時点で\$570,416.48、日本円 ¥110,761 です。各地からご献金下さっている皆様に心から感謝申し上げます。

*** お知らせ ***

- ❖ 9月2日(土)~4日(月・祝)のレイバーデーの三連休に、JCCNJ の修養会が持たれます。今年はミラノ賛美教会の牧師・内村伸之先生が「神の国マインドで生きる」というテーマでお話をさせていただきます。なお、9月3日(日)の礼拝は修養会会場(Eddy Farm: 100 Eddy Farm Rd, Sparrow Bush, NY 12780)で持たれます。Maywood での礼拝はございませんのでご注意下さい。
- ❖ 通常第1金曜日にもっているマンハッタンオアシスは、1日前にずらして、8月31日(木)午後7時15分より、内村先生ご夫妻を迎えて持たれます。会場は通常通り、244 Rehearsal Studio(244 West 54th Street 10th Floor, New York, NY 10019)です。ぜひ、お出かけ下さい。
- ❖ 9月6日(水)のクロッキー教室は、内村先生が聖書のお話を担当していただきます。
- ❖ 10月21日(土)午前10時から「三浦綾子読書会」顧問の長谷川与志充牧師(東京 JCF 牧師)をお迎えして、「三浦綾子のメッセージ」と題して講演をしていただきます。長谷川師は「いじめ」や「生きることの難しさ」の苦しみから三浦綾子の作品によって救われて今は牧師として歩んでおられます。是非お出かけ下さい。ベビーシッターもあります。詳しくはチラシをご覧ください。
<http://jccofnj.org/wp-content/uploads/2017/08/hasegawashikouenkai.pdf>
(アドレスは一行で入力して下さい)
- ❖ 7-8月お休みだったクロッキー教室、JOYJOY キッズクラブ、JOYJOY シンガーズ、Ridgewood 聖書を読む会が9月から再開されます。ぜひ、お出かけ下さい。
- ❖ 礼拝のメッセージは英語に同時通訳されております。
- ❖ JCCNJ では郵送版に加えて、内容は同じですが、EメールでのPDF版の月報も発行しています。郵送からE月報への切り替えをご希望される方は、hisho@jccofnj.org までご連絡ください。なお、E月報にご登録頂きました方には、隔月発行の月報に加えて、狭間の月に、Eお知らせをお届けします。
- ❖ 教会のホームページ(jccofnj.org)をご訪問下さい。毎週の礼拝メッセージを始め、日々の予定、各集会の様子など、随時更新されています。ぜひご訪問下さい。
- ❖ 教会公式 Facebook ページもあります。アカウント名は Japanese Christian Church of New Jersey です。そちらも是非ご覧になって下さい。
- ❖ 当教会では、みずほ銀行麹町支店(店番号 021)に日本円の口座があります。(口座番号は、ニュージャージー日本語キリスト教会 一般献金:1085657、ニュージャージー日本語キリスト教会 会堂建築献金: 1085665)です。

120 East Pleasant Avenue
 Maywood, NJ 07607
 USA

教会: 201-712-9833
 牧師館: 201-251-7977
 牧師携帯: 201-221-6244
 HP: jccofnj.org
 牧師メール: pastor.jccofnj@gmail.com

2017年9・10月号 月報

9月						
日	月	火	水	木	金	土
				8/31	1	2
				19:15 マンハッタン オアシス (244 Studios 244 W. 54 Street, 10th floor.)		← 修養会 (9/2-4)
3	4	5	6	7	8	9
修養会(9/2-4) Maywoodでの礼拝は ありません		*	10:30 クロッキー教室 (三村宅) 13:30- JCCカフェ (三村宅) 牧師面談日			15:30 JoyJoyンガース' (教会)
10	11	12	13	14	15	16
11:45 聖歌隊練習 12:45 バイブル・クラス / The BRAVE 祈り会 13:30 聖餐礼拝(錦織師)	地区 牧師 会	*	牧師面談日 (NY) 13:00- JCCカフェ (三村宅)	16:00 JoyJoyキッズ'クラブ' in Maywood 19:00 Friday Night オアシス (牧師館)	10:00 Ridgewood 聖書を読む会 (未定) 19:00 Friday Night オアシス (教会)	15:30 JoyJoyンガース' (教会)
17	18	19	20	21	22	23
11:45 祈禱会 12:45 バイブル・クラス / The BRAVE 祈り会 13:30 主日礼拝(錦織師) 礼拝後 役員会	*		10:30 クロッキー教室 (三村宅) 牧師面談日	16:00 JoyJoyキッズ'クラブ' in Leonia		15:30 JoyJoyンガース' (教会)
24	25	26	27	28	29	30
11:45 聖歌隊練習 12:45 バイブル・クラス / The BRAVE 祈り会 13:30 主日礼拝(錦織師)	*		牧師面談日 (NY)			15:30 JoyJoyンガース' (教会)

* 牧師休日

10月						
日	月	火	水	木	金	土
1	2	3	4	5	6	7
11:45 聖歌隊練習 12:45 英語バイブル・クラス / The BRAVE 祈り会 13:30 聖餐礼拝(錦織師)	*		10:30 クロッキー教室 (三村宅) 牧師面談日		10:00 Ridgewood 聖書を読む会 (未定) 19:15 マンハッタン オアシス (244 Studios 244 W. 54 Street, 10th floor.)	
8	9	10	11	12	13	14
11:45 聖歌隊練習 12:45 英語バイブル・クラス / The BRAVE 祈り会 13:30 主日礼拝(錦織師)	*		牧師面談日 (NY) 13:00-16:00 JCCカフェ (三村宅)	16:00 JoyJoyキッズ'クラブ' in Maywood		15:30 JoyJoyンガース' (教会)
15	16	17	18	19	20	21
11:45 祈禱会 12:45 英語バイブル・クラス / The BRAVE 祈り会 13:30 主日礼拝(錦織師) 礼拝後 役員会	*		クロッキー教室休 牧師面談日	16:00 JoyJoyキッズ'クラブ' in Leonia	10:00 Ridgewood 聖書を読む会 (未定) 19:00 Friday Night オアシス (牧師館)	10:00 長谷川与志充師 講演会 「三浦綾子の メッセージ」 15:30 JoyJoyンガース' (教会)
22	23	24	25	26	27	28
11:45 聖歌隊練習 12:45 英語バイブル・クラス / The BRAVE 祈り会 13:30 主日礼拝(錦織師)	*		牧師面談日 (NY)			15:30 JoyJoyンガース' (教会)
29	30	31				
11:45 聖歌隊練習 12:45 英語バイブル・クラス / The BRAVE 祈り会 13:30 主日礼拝(錦織師)	*					